

昭和四年
八月八日 福岡縣地震報告

福岡測候所報告

福岡では八日午後十時二十九分二十五秒地鳴と共に性質急な微震を感じたが夫から約四分の後即ち午後十時三十三分二十二秒に急性な弱震が起り初期微動繼續時間二秒四を経て主要動に移り最大動は三十分二十五秒に於て北々西の方向に全振幅五耗五週期〇秒五を示し爾後三四回は引續き振動を現はしたが三十秒間を経て急に細微となり震動時間四分にして靜止した、此地震は内陸性地震であつて性質が甚だ急で且つ上下動を伴つたが爲め人身の感覺が可なり強く福岡では人々戶外に逃出する程であつた即ち明治三十一年八月十二日の糸島強震に亞ひて強き地震で大正十一年十二月八日の島原地震よりは約二倍の強さであつて三十年來見ざる處である震源は福岡より南方約四里半の地點で佐賀縣の國境附近に當るであらう。

此地震は振動の強かつた割合に震域が狹隘であつて震源の深さは五六里を出でまい全く福岡に起つた一種の特發地震である。各地よりの報告左の如し

羽犬塚

發震時二二時三四分三一秒。弱震(弱き方)性質稍急 一般の人に感ずる程度 垂下物動搖 戸障子
少し揺れる 震動時間五秒 震動方向東より西へ

佐賀

發震時二二時三三〇〇秒 弱震 家屋可なり動搖す

宮崎

發震時二二時三三分五二秒 無感初期微動二十八秒

大分

發震時二五時三三分四一秒 無感 初期微動十六秒 性質急

泉

發震時二二時三四分六秒 弱震(弱き方)性質急 家屋可なり動搖

熊本

發震時二二時三三分三八秒 微震 性質緩 初期微動十四秒 初動方向北々東或は南々西